



No.517

治安維持法犠牲者
 国家賠償要求同盟
 編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
 文京区湯島2-4-4
 平和と労働センター・全労連会館
 電話 03(5842)6461
 FAX 03(5842)6462
 E-mail
 chian@bz03.plala.or.jp
 頒価 50円

安倍暴走内閣打倒「共謀罪」法の廃止を 創立50周年を2万人の会員で迎えよう

第38回全国大会特集

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟は6月8、9日、東京・全労連会館で第38回全国大会を開き、同盟50周年記念事業の成功など、これから2年間の運動方針と、増本一彦会長、田中幹夫事務局長をはじめとする新しい役員、特別決議「憲法改悪反対」「同盟50周年成功」などを全員一致で決めました。

全国大会には、全都道府県から代議員が参加し、初日は宮田汎副会長の司会ですめられ、前大会からこの間に志半ばで亡くなられた会員に黙とうし、議長団に有川功さん、交告ちづさんを選出。増本一彦会長があいさつしました。

増本会長は、2万人の同盟の建設と国会請願署名の自主目標の達成の決意を固め、それを実現する運動方針を決めることだとして、つぎの二つを強調しました。

一つは、先達たちの要求にもとづく国会請願は、侵略戦争を遂行するために国家権力が拷問・凌辱

による虐殺・獄死、長期拘禁による疾病、思想信条の蹂躪、家族・近親者にいたるまでの村八分など人道に反する暴虐を行った事実の告発にもとづくものであり、弾圧犠牲者全員を特別立法で救済し名誉回復を実現する闘争です。

二つは、犠牲者らの生命を賭した闘いと抵抗の歴史が、日本国憲法に両性の平等にもとづく民主主義、戦争の放棄と国際平和主義、基本的人権尊重主義を結実させました。これをさらに発展させるため創造的な活動に取り組みとです。(2ページへつづく)

主な記事

- 中央本部新役員・名誉会長・顧問 2
- 私も一言／中村尚史（全日本教職員組合委員長） 3
- 大会特別決議／50周年を2万人の会員で、憲法改悪反対 5
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 7
- 抗議声明／共謀罪廃止 8

(1ページからのつづき)

2万人の同盟建設と国会請願署名目標達成、全国の同盟組織の女性部を確立して女性会員の拡大、青壮年層に同盟運動を広げましよう。



写真は右から増本、緒方、坂屋の各氏

女性会員と青壮年会員の拡大は、同盟運動の活力を生み出す源泉です。これに真面目に取り組む組もうではありませぬか。これら課題を前進させていくうえで、なぜ同盟が2

万人の組織にならなければならぬのか、なぜ国会請願署名運動をするのかなどを、わかりやすく説明することが求められます。

「種まく人びと」DVDの上映運動を1万人、2万人という規模に広げていけば、このなかから青壮年層と女性の気持ちにもフィットした斬新なアイデアが生まれ、てくるでしょう。活発な議論で大会の成功を心からお願ひします。

このあと来賓の日本共産党緒方靖夫副委員長は、「ドイツ、イタリアでは戦前・戦中に弾圧を受けた犠牲者に特別年金が与えられています。日本では謝罪も賠償も行われていません。みなさんのたたかいは、遅れた日本を前にすすめるもの。治安維持法の再来である共謀罪の危険を最も説得力を持って訴えることができるみなさんの出番のとき」とあいさつ。また坂屋光裕日本国民救援会事務局次長が、「治安維持同盟のみなさんと共同してたたかい、共謀罪をかならず廃案に追い込みたい」とあいさつしました。

(3ページへつづく)

中央本部役員・名誉会長・顧問

会長	増本 一彦	風間 秀子	宮城・相原 君雄	兵衛・小坂ますみ
副会長	有川 功	後藤 太刀味	秋田・高田 博	奈良・加藤 直之
	石村 善治	清水 邦治	山形・須貝 健一	鳥取・矢田 一也
	大石 喜美恵	中嶋 育雄	福島・山口 文彦	和歌山・竹中 寿健
	針谷 宏一	大益 弘	茨城・久保田俊雄	鳥根・小玉 信恵
	宮田 汎	宗形 孝至	栃木・小貫 暁	岡山・小山 博通
	最上 健造	山崎 雅子	群馬・長谷川直之	広島・原 剛
	矢島 恒夫	和田 庸子	埼玉・加納 幸子	山口・大田 智美
	吉田 万三	和田 庸子	千葉・小松 実	徳島・大栗 丸人
	若山 晴史	柄澤 義郎	東京・高橋 陽子	香川・孝岡 弘子
事務局長	田中 幹夫	遠山 茂治	東京・中村 茂樹	愛媛・堀内 英昭
	榎本 よう子	北口 寛	東京・志賀 正	高知・岡村 正弘
	小池 莊市	三原 哲	神奈川・小澤 睦夫	福岡・内田 朋道
常任理事	井藤 英治	塩田 一行	神奈川・塩田 儀夫	長崎・力武 晴紀
	岩下 美佐子	眞殿 天童	山梨・田中 鉄夫	熊本・関根 隆
	小野寺 研一	岡 正信	長野・松本 隆雄	大分・遠入 建夫
	菅野 亨一	田辺 実	新潟・伊藤 恭子	宮崎・日高 脩
	澤田 勝男	鶴田 至弘	富山・堀口 尚	鹿島・上野 隆司
	濱谷 正支	福井 正樹	石川・金子 視好	沖縄・村山 純
	藤田 廣登	二階堂 邦子	福井・西村 明宏	名誉会長
	吉鶴 学	田中 和夫	岐阜・小澤 恒男	柳河瀬 精
	増山 和則	高原 久美	静岡・江川 佐一	顧問
	横山 博子	森岡 幸一	愛知・飯田 勇	近江谷昭二郎
	鎌田 哲成	上田 実	愛知・西田 一廣	神戸 照
	牛山 靖夫	榎和田 正子	三重・谷 良隆	富山 信男
	瀬野 幸男	小田 憲郎	滋賀・西田 清	溝淵 政子
	岩田 治樹	天水 貞照	京都・原田 完	宮田 勝
	小室 仁彌	益子 良一	京都・山本 隆	四津谷 伸子
	中村 日出丸	松井 久雄	大阪・佐野 彰義	栗田 翠
	阿部 俊雄	理事	大阪・甲斐富貴雄	林 洋武
		北道・大澤 淳基	大阪・津田 和彌	山崎 元
		青森・館田 篤広	大阪・松本洋一郎	山口 翼
		岩手・小杉 正夫	大阪・柴田 一義	井上 敏江
			兵庫・戸崎曾太郎	紺野 君子

(2ページからのつづき)

平和・民主の諸団体26と個人36人からよせられたメッセージから、

報告と運動方針の報告に立った田中幹夫事務局長は、5月22日の国会請願には、45都道府県から18

由党の小沢一郎代表が紹介議員になるなど、新しい動きもあるのので、秋の臨時国会で紹介議員を増やしたいとのべました。

地方議会での意見書採択では、さまざまな努力がされているので、これらの経験を研究したいと表明。



全労連のメッセージに要請したが、署名は前年よりも後退。民進党の横路孝弘、共産党の仁比聡平、自由党の森ゆうこの各議員から激励あいさつがあった。と報告 紹介議員は6月7日現在、

治安維持法犠牲者の水谷安子、杉浦正男、松本五郎、菱谷良一の4氏の記者会見は、NHK、共同通信・団体機関紙など7社2団体

取り組むよう呼びかけました。会員は1万5335人で大会比201人の増です。各都道府県の自主目標1万8540人を早期達成し、創立50周年記念日までに2万人を目指そう。運動を総合的に



安倍首相は、閣議決定が好きた。この国会でも、「そもそも」には「基本的に」と言う意味があると強引に閣議決定は、安倍首相にとっては万能の剣なのだ。

議決定してしまった。

言葉の意味について

は、言語学者が研究

を積み重ね、議論し、

「閣議決定」万能の暴走は許されない

中村 尚史

だが、ついには「そもそも」に「基本的に」という意味があるとして

その到達点を研究成果として世に問

い、確定していく。そして、その成

果は国語辞典などとして著されると

いうものだろう。ところが、「全知

全能の神」とでも思っているのか、

「自分がルールブックだ」と思っ

た国語辞書については「承知しない」ということ

まで閣議決定せざるを得なくなつた。驕り、高ぶ

りは、しつぺ返しのように、自らに返ってくる。

支持率が急落した。あと一歩だ！

(全日本教職員組合委員長)

などが大きく報道と紹介しました。地方議会での意見書採択では、さまざまな努力がされているので、これらの経験を研究したいと表明。顕彰活動では犠牲者の不屈のたたかいを掘り起し、学び顕彰することが重要。全県本部が犠牲者の実態を調査し、犠牲者名簿の作成に取り組むよう呼びかけました。会員は1万5335人で大会比201人の増です。各都道府県の自主目標1万8540人を早期達成し、創立50周年記念日までに2万人を目指そう。運動を総合的に発展させる基本は支部建設であり、地域に密着した市民権を持つ支部を建設しようと強調。全県に女性部を確立しようとのべました。50周年記念事業と2000万円記念募金運動では、好評の「種まく人びと」の上映小集会を無数に開いて会員拡大と署名の協力者を広げ、募金の達成、記念行事を成功させようと訴えました。榎本よう子事務局次長が財政報告を行ったあと、吉田忠文会計監査が監査報告を行いました。

(4ページへつづく)

私も一言

(3ページからのつづき)

2日目は、議長に最上健造さん、大石喜美恵さんがつきました。

討論のまとめにたった田中事務局長は、47人が発言、文書発言を含めて53人が発言しました。

発言内容を大まかに分類すると、共謀罪・戦争法を含めた情勢20人、国賠署名11人、会員拡大11人、支

部・県本部の建設12人、地方議会

の意見書採択、国民連合政府と野党共闘・市民連合など、情勢を反映し豊かな内容が報告されました。

さらに、「創立50周年記念映画『種まく人びと』DVDの上映活

動」で同盟活動の新たな前進を作

大会に寄せられたメッセージ (団体、順不同、敬称略)

北大生・宮澤弘幸「スパイ冤罪事件」の真相を広める会・事務局

一同、憲法改悪阻止各界連絡会議(憲法会議)、国際人権活動日本

委員会、国土交通労働組合中央執行委員長安藤高弘、自交総連中央

執行委員長高城政利、自由法曹団団長荒井新二、新日本婦人の会中

央本部、全国商工団体連合会、全国生活と健康を守る会連合会(全

生連)、全司法労働組合中央執行委員長中矢正晴、全日本教職員組

合中央執行委員長中村尚史、全日本赤十字労働組合連合会中央執行

委員長森田しのぶ、全日本民主医療機関連合会会長藤末 衛、全労

連・全国一般労働組合、第63回日本母親大会実行委員会、日本アジ

ア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会、日本医療労働組合連合

会中央執行委員長中野千香子、日本キューバ友好協会理事長工藤昌

宏、日本国家公務員労働組合連合会中央執行委員長岡部勸市、日本

婦人団体連合会会長柴田真佐子、日本民主青年同盟中央委員会、平

和・民主・革新の日本をめざす全国の会(全国革新懇)、レッド・

パージ反対全国連絡センター事務局局長鈴木章治、東京山宣会会長長

島民男、日本中国友好協会会長大村新一郎

立50周年を意気高く迎えようでは
ありませんか」と結びました。

最後に大会議案と活動報告・運
動方針を全員一致で採択しました。

『発言者とテーマ』

1日目▽沖繩県・村山純「オー

ル沖繩の闘いにつないだ先人の奮
闘、県同盟の建設」▽長野県・山

口光昭「戦前(1933・2)の

治安維持法違反の大弾圧(2・4

事件)をとおして共謀法の本質を

つく」▽神奈川県・宗形孝至「共

謀罪反対、「種まく人々」普及な

ど同盟50周年にむけて」▽奈良県・

宮本次郎「初の青年交流集会の開

催、県同盟青年部の活動」▽石川

県・北口吉治「署名の遅れの原因

と団体署名の飛躍を」▽神奈川県・

植田泰治「国家賠償法(仮称)の

成文化、「種まく人々」の活用」

▽岩手県・牛山靖夫「個人署名・

団体署名・会員拡大の自主三目標

を達成の経緯」▽福井県・西村明

宏「会員拡大の自主三目標達成の

教訓」▽大阪府・眞殿天童「治維

法犠牲者だった父の記録を発見、
特高の残虐な取り調べ」
(5ページへつづく)



現代の治安維持法
と言われる「共謀罪」

法案が強行採決され
たが、森友・加計学
園問題と合わせ国民

の怒りは治まらない▼民主党政権
時の文科相・田中真紀子氏が加計
問題で、沈黙を破り安倍首相に

「もう限界」と退陣を迫った
(「AERA」)。その理由の一
つが興味深い。彼とは「歴史認識

が違ふのよ。昔交わした「私語」
の日記から。田中「中国や東南ア
ジアへの侵略戦争でしょ」。安倍

「違う違う。アジアを解放するた
めに行ったんだ」▼衆議院法務委
員会で弾圧犠牲者の救済、名誉回

復を迫った畑野君枝議員は、木で
鼻をくくったような金田法務大臣

の答弁に「だめですよ大臣、また
繰り返すんですか。共謀罪法案。

当時も、明治憲法のもとで、憲法
違反、強行採決、国際社会からの

批判も聞かない。その結果、侵略
戦争に突き進んだんじゃないやませ

んか」と迫った▼歴史を学び直し
い歴史認識を持って「再び戦争と

暗黒政治を許さない」と活動する
国賠同盟の役割は大きい。(池)

(4ページからのつづき)

▽中央・藤田廣登「犠牲者数の到達点に基づく正しい数値を、同盟が犠牲者顕彰の総合的専門組織に」▽大阪府・大石喜美恵「女性

第38回全国大会特別決議

日本国憲法の改悪に断乎として反対します (要旨)

本年5月3日、あの残酷で長かった戦争から解放され、日本国憲法が施行され、70年が経過しました。終戦から72年の間、私たちは平和と人権と国民主権を一步ずつ確実なものにする努力を積み重ねてきました。

しかし、この一、二年急速にこれらの成果と果実が失われようとしています。一連の「戦争法(安保関連法)」の成立、それに基づく自衛隊の南スーダン派遣・派兵・撤

れに基づく自衛隊の南スーダン派遣・派兵・撤

部の取り組みと顕彰活動」▽宮崎県・日高脩「情勢の進展に見合った同盟建設」▽宮城県・横田有史「石巻支部や女性部結成などを振り返り」▽兵庫県・小坂ますみ

「女性部活動の取り組み」2日目▽岩手県・金崎安子「釜石支部で04年女性部結成以来街宣430回、安倍抗議はがき450枚」▽岐阜県・交告ちづ「岐阜支

退、「共謀罪法案の衆議院可決、そして安倍首相自ら憲法九条3項に「自衛隊」を明記し2020年に施行すると発言するまでに至っています。日本の針路を「戦争」に向かわせるのか、それとも「平和的生存権」を実現し、真の「平和国家」となるのかのまさに「正念場」に立たされています。わが国賠償同盟は、日本国憲法の改悪に断乎として反対します。

め、多彩な活動を繰り広げ、正しい歴史認識確立の重要な一翼を担ってきました。私たちは大会の名において全会員のみなさんに同盟創立50周年を機に「運動の新たな発展の転機を作り出す」ことを呼びかけます。来年の50周年記念日までに2万人の会員を擁する同盟と請願署名の自主目標達成に正面から取り組む決意を固めあうとともに、会員のみなさんのご奮闘を呼びかけます。

同盟創立50周年を2万人の会員と署名目標達成で迎えよう (要旨)

1968年3月15日、治安維持法弾圧犠牲者を中心に二〇〇人で結成された「治安維持法賠償同盟」は、来年創立50周年を迎えます。

創立の目的は「戦前の歴史の真実を明らかにし、日本国民の平和と民主主義のための闘いの伝統を受け継ぎ発展させること、そしてこの闘いの故に弾圧を受けた人々に対する国の謝罪と賠償の実現」をめざし「新たな国民的運動として発展させる」ことにあり、目的を達成するた

部の四世代交流会、西濃支部の署名活動」▽大阪府・甲斐富貴雄「茨木支部結成で仲間増やしなが

らの前進」▽兵庫県・小松美紀江「地域に密着した会員拡大、2年半で約6倍化した高砂支部の教訓」

▽京都府・藤原元幸「再建から6年で会員50人から130人に増やした宇治洛南支部の教訓」▽大阪府・原一義「国会請願に参加決意、各種団体を訪問し賛同を広めて」

▽東京都・中嶋育雄「都本部40周年の取り組みと支部建設」▽埼玉県・佐藤訓子「岩槻支部の一人ひとりの結びつき、学幼輩視の活動」▽山形県・須貝健一「市民と野党連合の状況を生かした署名活動、県本部の30周年事業」▽島根県・小玉信恵「県事務局長として活動の先頭に」▽香川県・田中和夫

「県活動の改善・発展の方向」▽長崎県・力武晴紀「犠牲者・末永敏事の新聞連載と顕彰活動の計画」▽高知県・森岡幸一「青年部結成から組織化へ、全国青年集会への参加呼びかけ」▽奈良県・田辺実「旧奈良監獄の保存活用事業について」(6ページへつづく)

(5ページからのつづき)

▽愛知県・森繁樹「戦争映画を見る会、「種まく人びと」上映を通じた会員拡大」▽徳島県・喜多啓一「安倍政権のマスコミ操作と同盟のがんばり」▽北海道・本間昭一「署名目標達成した北見支部

の活動の教訓」▽鳥取県・池岡靖則「集落の8割を個別訪問し、町長の協力もえて署名を訴えた体験」▽群馬県・長谷田直之「共謀罪の歴史を考える学習会に犠牲者遺族が3組参加した経験」

さわしい同盟活動」▽福島県・安斎洪基「原発再稼働と福島切り捨ては許さない」▽青森県・門倉昇「国会請願署名は国民運動のなかめ」▽中央・澤田勝雄「情勢の特徴と『治安維持法と現代』」▽兵庫

願活動」▽青森県・鎌田哲成「地方議会請願」と「青年との連携」「共謀罪」▽島根県・城市昇「野党共闘に関する議案書案への提案」▽長野県・遠山茂治「レッド・パージ反対運動と同盟運動の結びつき」▽新潟県・相沢寛「350人の県同盟を」50周年記念めざして

大会に寄せられたメッセーじ(個人)

▽静岡県・江川佐一「会員拡大と財政活動強化」▽北海道・野瀬義昭「組織強化」戦争法違憲訴訟原告団参加」▽中央国際部長・菅野亨一「国際部活動」▽愛知県・堀内英昭「小学4年生から治安維持法で弾圧された被害者の話」

民進党衆議院議員

横路 孝弘

日本共産党衆議院議員

島津 幸広

民進党衆議院議員

黄川田 徹

日本共産党衆議院議員

藤野 保史

民進党衆議院議員

福島 伸享

日本共産党衆議院議員

清水 忠史

民進党衆議院議員

奥野総一郎

日本共産党衆議院議員

堀内 照文

民進党衆議院議員

初鹿 明博

日本共産党衆議院議員

赤嶺 政賢

民進党衆議院議員

西村ちなみ

日本共産党衆議院議員

田村 貴昭

民進党衆議院議員

近藤 昭一

日本共産党衆議院議員

真島 省三

民進党参議院議員

小川 勝也

日本共産党参議院議員

小池 晃

民進党参議院議員

田名部匡代

日本共産党参議院議員

山下 芳生

民進党参議院議員

宮沢 由佳

日本共産党参議院議員

田村 智子

日本共産党衆議院議員

島山 和也

日本共産党参議院議員

岩淵 友

日本共産党衆議院議員

高橋千鶴子

日本共産党参議院議員

武田 良介

日本共産党衆議院議員

塩川 鉄也

日本共産党参議院議員

吉良よし子

日本共産党衆議院議員

畑野 君枝

日本共産党参議院議員

山添 拓

日本共産党衆議院議員

斉藤 和子

日本共産党参議院議員

倉林 明子

日本共産党衆議院議員

宮本 徹

日本共産党参議院議員

辰巳孝太郎

日本共産党衆議院議員

池内さおり

日本共産党参議院議員

紙 智子

日本共産党衆議院議員

本村 伸子

「沖繩の風」参議院議員

伊波 洋一

(順不同)

《発言通告者》

神奈川県・大益弘「野党統一と市民の共同」▽宮城県・相原君雄「戦争する国をめざす安倍極右反動内閣」▽「徳島県・高原久美」女性部の活動、同盟女性部の連帯」▽埼玉県・小室仁弥「国民連合政権をつくるために力をつくそう」▽東京都・清水邦治「都本部40周年記念事業の成果」▽滋賀県・西田清「国会請願署名の目標未達成の反省、会員拡大」▽千葉県・七里一司、「不届」千葉版編集

短歌

弟と妹を庇い母助け生きた戦後よ星が流れる

奈良県 大森富士子

無言館絵筆断たれし若者の無念の思いに涙が頬に

埼玉県 福家 駿吉

核廃絶の平和行進の道で待ついつもの山萩薄紅で

静岡県 江川 佐一

軽鳴の泳げば梅雨の稲揺れて渦巻状の波ひろげおり

岩手県 小杉 正夫

コケの壁空気浄化に効果ありとドイツエッセン駅に

島根県 小玉 信恵

密告の監視社会などつくらせぬ八十路の友と集会に

埼玉県 小室 仁彌

治安維持法の事を語れと招ばれしに体弱りて行けぬ

大分県 渡邊 幹生

捨てたきは齡と思ふ体中悲鳴あげいる八十九歳

新潟県 加茂川ハル子

おこがましき原発輸出なりヒロシマありフクシマ原

東京都 山崎 元

農家より貰いて植えし紫蘇の苗葉摘むを夢む真夏の

鳥取県 大久保 禮吉

夕

〈選のあとに〉東京都議選が告示。本号が出る頃、

世を変える力が、大きく勝利していることを強く願

いつつ、選歌をしました。この時代と切り結ぶ表現の力は、「深く、強く」石川啄木の言葉です。

碓田のぼる選

俳句

わが足は六月の足安保の足

神奈川県 天野三葉子

六月の隠蔽国会続強行

石川県 野村 芳泉

共謀法たくらみ知るか蛍舞ふ

埼玉県 小池 莊八

母と会う夢紫陽花に囲まれて

三重県 橋本しげる

暑さ耐へポスター掲げアベやめろ

兵庫県 岸本 守

〈評〉天野氏、燃えた六十年安保闘争。今は共謀罪を廃棄に。力のかぎりたたかってきた、足よ。野村さん、隠蔽と強行採決許せない。橋本氏、誰も母あつてこそ。あじさいに囲まれた抒情的な夢。

川柳

ご意向に背けば先のないキャリア

埼玉県 福家 駿吉

〈評〉中央の官僚も地方の職員も概ねそういうことらしい。これでは気骨ある優秀なお役人は育たない。

川柳のネタであふれるこの政治

大阪府 大和 峯二

思いやり予算がほしいわが暮し

宮城県 根本 京子

嘘かさね奈落へすすむ安倍政治

埼玉県 小室 仁彌

友を選ばばむかし刎鶏いま腹心

東京都 山崎 元

望月たけし選

【訂正】

▽本紙前号6ページ「抵抗の群像」末永敏事氏の記事の中、2段2行6字目「に」を「は」に、3段13行3字目「入」を「人」に。さらに、4段7行目の後に、「その結びの文は次のとおりである。」と加筆し、「犠牲者の…敏事はそれを教えてくれた。」と、訂正し、謝罪いたします。

▽本紙4月号5ページ「顕彰碑」山本秀順氏2段3・4行目を「長野県松本市郊外の里山辺村、鬼川霊瑞寺」と訂正。8行目は「長野県南安曇郡」に訂正。

事務局日誌

- 6月13日 「不届」編集委員会
- 6月15日 共謀罪の採決強行国会前抗議集会
- 6月17日 日本共産党中央委員会へ三代表敬訪問
- 6月20日 国際人権活動日本委員会幹事会

「種まく人々」DVD上映会の経験をFAX/メールで投稿してください。(編集部)

新三役が共産党を表敬訪問



第38回全国大会で選出された増本一彦会長をはじめ新三役11人は6月17日、日本共産党中央委員会を訪問しました。増本会長は、大会に緒方靖夫副委員長が出席し激励のあいさつをいただいたことに感謝をのべ、「来年の創立50周年めざして2万人の同盟を建設したい」と決意を表明。田中書記局長次長は、「共謀罪、安保法制、秘密保護法による『戦争する国』づくりを許さない闘いをすすめるうえで、同盟の役割は特別に重要」と指摘し、激励しました。

本共産党中央委員会を訪問しました。共産党からは田中悠常任幹部

「共謀罪」法案の採決強行に断固抗議し 廃止のため闘うことを表明する

安倍内閣は、共謀罪法案を国民の反対運動と世論を踏みにじって参議院でも強行採決して成立させた。

これは、第1に共産党など野党議員の質問時間が未だ残っているにもかかわらず、議員の審議権を多数の横暴によって蹂躪した。第2に「中間報告」という手段を採って党利党略、数の暴力で押し切った。第3に「共謀罪」法は、憲法19条が保障する内心の自由に対する重大な侵害である。

同盟は権力にしがみつく稀代の最悪のファシショ政権である。安倍内閣が直ちに退陣することを要求する。

「共謀罪」法に断固反対し、市民と野党の共闘、世論と運動との連帯をさらに強め、全組織を挙げて廃止まで闘いぬく。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 会長 増本一彦

〔日程表〕

月日	都	市	現地時刻	交通機関	橋	要	〈宿泊地〉	
10月16日(月)	關北	西京	空	港	午前	航空機	空路北京へ CA162(9:00~11:20) または NH979(10:00~12:15)	
					午前	航空機	空路北京へ CA184(8:30~11:20) または NH961(9:25~12:20)	
		天津	午後	専用車	北京に隣接する直轄市、天津へ(約3h)		〈天津泊〉	
17日(火)	天	津	午前	専用車	市内見学	*溥儀が暮らした静園 *古文化街など		
					午後	専用車	*烈士陵園 (在白殉難烈士・労働者記念館/花岡事件記念館) 館長や弁護士、強制連行被害者と懇談	〈天津泊〉
18日(水)	天北	津京	午前	専用車	市内見学	*周恩来鄧穎超記念館 *五大道(旧英国租界)		
					午後	専用車	再び北京へ	〈北京泊〉
19日(木)	北	京	午前	専用車	2015年リニューアルされた	盧溝橋抗日戦争祈念館を見学、館長などと懇談		
					午後	専用車	市内見学 *首都博物館など	〈北京泊〉
20日(金)	北	京	午前	専用車	郊外の燕荘店地下道戦遺跡記念館(抗日ゲリラ戦)を見学後、空港へ			
					午後	航空機	空路、羽田空港へCA421(15:50~20:05) またはNH962(15:35~20:00)	
					午後	航空機	空路、関西空港へCA161(16:05~20:10) またはNH980(14:30~18:20)	

盧溝橋事件80年、中国平和・連帯の旅にご参加を

日中全面戦争から80年。日本の中国侵略の実相の向き合う旅。

今回の平和連帯の旅は盧溝橋の抗日戦争記念館、天津の烈士陵園・花岡事件記念館などを訪ね館長さんなどと懇談します。

◎日程 10月16日~20日

◎費用 176000円

◎申し込み 富士国際旅行社 ☎03(3357)3377 締め切り 9月15日(金) 申し込みはお早めに、担当は堀米さんまで。